



2月22日 東地申第56号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の 申し入れ【東京総合車両センター田町派出】団体交渉を行なう！その①

1. 田町派出所で3月に定年退職者が発生するが、どのように要員を養成、補充していくのか明らかにすること。

回答:必要な要員は確保していく考えである。なお、必要な教育は実施していく。

- ・定年退職者が発生するが、要員補充の考え方を示すこと。
- ・経験が重要であり、特殊な職場である。駅に出さないと転線できないなどの特殊性がある。そのようなことを踏まえて養成していくことが大切だ!

- ・タイミングによって退職で一時的に3名となることがあるかもしれないが、4名を確保していく考えだ。 **確認!**
- ・技量が必要であることは認識している。しっかりと体制が組めるようにしていく。

田町派出の特殊性を確認! 特殊性を踏まえた人材を養成していくべきだ!

2. 今回のダイヤ改正からE657系の定期的な仕業検査や構内作業が無くなるが、臨時作業が発生した場合に対応できるよう定期的な訓練を行うこと。

回答:必要な教育・訓練は実施していく考えである。

- ・E657系について、変更となる作業や時間について明らかにすること。
- ・異常時に入換は発生するのか? また、臨時の仕業検査は発生するのか明らかにすること。
- ・臨入や特発が発生した場合の入換は誰が行うのか明らかにすること。
- ・E657系を運転する機会がなくなり、仕業検査も無くなるが、技量維持のために教育訓練を行うべきだ!

- ・午前中に1本滞泊、夜間2本滞泊に変更となる。入換は全て本線運転士が行う。
- ・異常時には品川駅折り返しを行うが、一旦構内へしまうこともある。仕業検査は基本的には勝田車両センターで検査できるが、可能性としてはゼロではない。
- ・ケースバイケースだが本線運転士が基本である。
- ・机上の教育と現車訓練があるが、E657系が尾久車両センターに留置されるため活用できると考えている。今後、仕業検査が発生する場合も想定されるため引き続き技量維持できるようにしていく。 **確認!**



2月22日 東地申第56号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の 申し入れ【東京総合車両センター田町派出】団体交渉を行なう！その②

3. 平日1845Eについて、現在より出区時間が早くなり作業時間が短くなることから、全般清掃の作業時間を確保すること。

回答:作業時間については、関係箇所と調整し設定している。

- 1845E について、変更となる作業時間を具体的に示すこと。
- 全般清掃に必要な作業時分を示すこと。
- トライアルも行っているが、今後の検討課題とすること。急いでやらなければならず作業安全にも関わることである。

- 全般清掃の作業時間が30分程度短くなる。
- 作業時間に基準はない。職場と調整しながら行っている。
- グループ会社と協議しており、一方的に支社から設定しているものではない。お互いに話し合っている。

無理な作業になっていないか？検証していくべきだ！！

4. 異常時、指令より常磐線および東海道線の運用パターンを使用して運転整理を行うが、運用パターンを現場へ周知すること。また、指令・品川駅輸送本部・田町派出所と異常時における勉強会をおこなうこと。

回答:必要な周知・教育・訓練は実施していく考えである。

- 常磐快速線や東海道線について運用パターンが存在するのか明らかにすること。
- 今回のパターンは田町派出へも共有するのか明らかにすること。
- 指令との勉強会や意見交換会を開催しないのか明らかにすること。

- 常磐快速線は運用パターンがあり乗務員区に展開している。東海道線については、パターンとまではいかないが心構えのようなものはあるが、指令の中にあるもので他区所へは展開していない。
- 田町派出にも共有してく。 **確認!**
- 指令とのフリートークを設定しているが、コロナ禍で開催できていなかった。適宜意見をいただければ設定していく。

団体交渉で確認したことについて検証をすすめていこう！